

環境人材育成プログラム開発・実証委員会（第8回）議事録

日時：平成24年1月31日（火） 17:30～19:00

場所：岩手大学 事務局 2階 第一会議室

出席者：高畑義人（岩手大学環境人材育成プログラム開発・実証委員会委員長、岩手大学理事・副学長、岩手県幼小中高大専 ESD 円卓会議幹事）、小川智（岩手大学理事・副学長、環境マネジメント推進室長、INS：CSR／環境人材育成研究会会長）、後藤尚人（岩手大学人文社会科学部教授、いわて高等教育コンソーシアム幹事）、田中吉兵衛（岩手大学教員養成機構教授、岩手県幼少中高大専 ESD 円卓会議幹事）、山本健（岩手県立大学准教授、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、伊勢貴（岩手県環境生活部環境生活企画室企画課長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、藤原敏代（リコージャパン株式会社東北営業本部岩手支社環境管理責任者、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、渡辺彰子（NPO 環境パートナーシップいわて代表）、長岡美和子（NPO 法人 ASIA Environment Alliance 理事長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）

欠席者：牧陽之助（岩手大学人文社会科学部長、岩手大学人文社会科学部環境人材育成WG代表、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、菊田哲（岩手県中小企業家同友会事務局長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、平井孝典（岩手県環境生活部課長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、藤井敬芳（盛岡市環境企画課長）

【配付資料】

1. 環境人材育成プログラム平成23年度の主事業について
2. 岩手大学認定資格「環境管理実務士」登録申込用紙申請者提出分
3. 岩手大学学外実習提言書
4. 岩手大学環境人材育成プログラムアンケート調査用紙提出分
5. 平成24年度以降プログラム継続実施の課題
6. 平成24年度プログラム予算案
7. 環境人材育成プログラム「環境管理実務士」要綱更新案
8. 環境人材育成プログラムリーフレット更新案
9. 環境教育科目「環境マネジメントと岩手大学」の新規開講について
10. 総合科目「環境マネジメント実践学」の継続開講について
11. 人文社会科学部専門科目「環境マネジメント実践演習」の継続開講について
12. 平成23年度学外実習について
13. 「環境マネジメントと岩手大学」EMS 公開セミナー（第6回がんちゃん国際フォーラムと共同開催）について
14. 第5回 HESD フォーラムについて
15. INS：CSR／環境人材育成研究会 2011 年度シンポジウムについて
16. 第7回環境人材育成に向けた大学全体会合について

新しく、高畑義人岩手大学理事・副学長がプログラム開発・実証委員会委員長に就任した。

議題1 平成23年度プログラムの進捗状況について（配布資料1）

事務局から、配布資料1に基づき、平成23年度における環境人材育成プログラムの進捗状況について説明があった。

小川委員から、環境教育科目教材の内容について更新が難しいとの指摘があった。

高畑委員長から、平成 23 年度中に予定されている環境人材育成プログラムに続けて取り組むことが表明された。

議題 2 「環境管理実務士」授与審査について（配布資料 2～4）

高畑委員長と事務局から、配布資料 2～4 に基づき、環境人材育成プログラム参加学生から「環境管理実務士」の申請が 1 件あると報告された。

事務局から、

- ・「環境管理実務士」取得要件のうち、必要科目の単位認定を確認したこと
- ・学外実習提言書が承認されれば、「環境管理実務士」の取得要件を満たすこと
- ・学外実習提言書は、内容を充実させるために加筆修正を求めたこと

が報告された。

「環境管理実務士」小委員会から、当該申請について、「環境管理実務士」の授与を承認してほしいとの提案が出された。

渡邊委員から、学外実習提言書の修正に関して、学生による納得が得られたかどうかについて質問が提起された。事務局は、「環境管理実務士」小委員会による助言を踏まえ、学生が納得して修正しているとの理解を示した。

以上のような説明と質疑応答後、「環境管理実務士」小委員会による学外実習提言書承認の提案を含め、当該申請 1 件に対する「環境管理実務士」の授与が承認された。

小川委員から、学外実習提言書を当委員会開催前に配布することが必要であるとの提案があった。高畑委員長と事務局は、次回の委員会から全委員に当該提言書の最終版を添付ファイルで送付すると回答した。

議題 3 平成 24 年度以降プログラムの継続実施について（配布資料 5～8）

高畑委員長と事務局は、配布資料 5・6 に基づき、平成 24 年度以降の岩手大学環境人材育成プログラムの継続実施に関する計画と課題並びに平成 24 年度予算案について説明した。

小川委員からは、平成 24 年度以降の「環境管理実務士」授与審査と関連する事務手続きについて、事務局に質問された後、岩手大学環境マネジメント推進室が所掌せざるを得ないのではないかとの見解が示された。

後藤委員は、岩手大学学務部学務課は事務手続きを行うことができる一方で、学外実習提言書の審査などについては教員の担当が必要になると提起した。

渡邊委員からは、岩手大学による環境人材育成コンソーシアム（Eco-Lead）への加盟について、さらに検討する必要があるとの意見があった。高畑委員長から、3 月の委員会で継続審議することが決まった。

後藤委員から、ESD 科目について、科目担当の先生方にシラバスへの ESD ラベリングの依頼を行う必要があると提起された。

配布資料 7・8 に基づき、事務局から、環境人材育成プログラムリーフレットと「環境管理実務士」要綱案の説明があった。

議題 4 その他
特になし。

- 報告 1 環境教育科目「環境マネジメントと岩手大学」の新規開講について（配布資料 9）
- 報告 2 総合科目「環境マネジメント実践学」の継続開講について（配布資料 10）
- 報告 3 人文社会科学部専門科目「環境マネジメント実践演習」の継続開講について（配布資料 11）
- 報告 4 平成 23 年度学外実習について（配布資料 12）
- 報告 5 「環境マネジメントと岩手大学」EMS 公開セミナー（第 6 回がんちゃん国際フォーラムと共同開催）について（配布資料 13）
- 報告 6 第 5 回 HESD フォーラムについて（配布資料 14）
- 報告 7 INS：CSR／環境人材育成研究会 2011 年度シンポジウムについて（配布資料 15）
- 報告 8 第 7 回環境人材育成に向けた大学全体会合について（配布資料 16）

事務局から、配布資料 9～15 に基づき、環境人材育成プログラムに関する講義・学外実習・フォーラム・シンポジウム・会合の内容や進捗状況についての説明があった。

渡邊委員から、非営利特定活動法人環境パートナーシップいわてが計画するインタープリターボランティア活動（学外実習）に平成 23 年度の参加者がいなかったとの事務局報告に対し、その理由についての質問があった。事務局からは、1) 学外実習の広報周知不足、2) 学生と受入先のニーズ・内容のミスマッチに加え、3) 学外実習に参加した学生が環境人材育成プログラムにも参加するとは限らないこと、を挙げた。

伊勢委員から、平成 23 年度における環境人材育成プログラムの目標として、「環境管理実務士」授与数が掲げられているのかについて質問があった。数値目標が設定され、同目標が達成できていないならば、分析、評価を行い、課題を抽出したうえで、対処する必要があると提起された。

山本委員からの質問に対して、事務局から、特に人文社会科学部専門科目「環境マネジメント実践演習」は同学部の他課程生及び他学部生にも開講されているものの、それぞれの専門科目とカリキュラム上重なるために、同科目の受講や「環境管理実務士」取得を希望していても、専門科目の受講を優先せざるを得ない事情があると説明した。

田中委員から、9・10 校時（16：30～18：00）の時間帯には、教職科目が開講されているとの情報提供があった。

後藤委員から、いわてコンソーシアムに加盟している他大学は、土・日曜日に集中科目を開講しているとの情報提供があった。

小川委員からは、同様のプログラムと比較すると、「環境管理実務士」の授与数が少ないものの、プログラムに実習が盛り込まれていることもあり、質が高く、良い成果が見られるとの見解が示された。

報告 9 その他
特になし。